

## 第二次四国中央市ボランティア市民活動推進計画 項目別評価

## 1. 評価方法

第二次計画で実施項目としていた 38 項目に対して、A～Dの4段階で評価し、現状及び課題を再確認し、第三次計画における各項目の方針として継続するかどうかなど、参考資料とする。

分類	達成状況目安	4段階評価
項目の内容をほぼ達成できた (実施し、十分な成果があった)	ほぼ 100%	A
ある程度達成できた (実施したが目立つ成果がなかった)	75%程度	B
あまり達成できなかった (十分に実施できなかった)	50%程度	C
ほとんど達成できなかった (施策が進まず実施できなかった)	25%以下	D

## 2. 評価概要

番号	項目名	評価	次期計画 項目
<b>■5-1 ボランティア活動への招待 (計画 p.19～)</b>			
(1)	ボランティア情報の収集強化	B	継続
(2)	情報誌の発行及び配布の強化	B	継続
(3)	インターネットやケーブルテレビなどを活用したボランティア情報の提供	C	変更
(4)	啓発用パンフレットやハンドブックなどの作成	B	変更
(5)	各種イベントなどでの PR 活動	C	変更
(6)	ボランティア活性化ツールの検討	D	変更
(7)	保育・教育におけるボランティア教育の強化	C	変更
(8)	保育・教育における体験プログラムの強化	B	変更
(9)	四国中央市ボランティア推進週間制定の検討	D	削除
(10)	企業のボランティア活動推進支援の強化	C	重点項目
(11)	ボランティア顕彰制度の検討(ポイント制度含む)	D	重点項目
<b>■5-2 活動をスタートするために (計画 p.21～)</b>			
(12)	ボランティアコーディネーターのスキルアップ	C	継続
(13)	ボランティア登録制度の更なる活用	A	変更

(14)	ボランティアマッチングの強化	A	継続
(15)	ボランティア活動に関する各種相談の強化	A	継続
(16)	初心者向け各種講座などの充実	B	継続
(17)	趣味や特技を活かした体験プログラムの開発	C	変更
(18)	家族や仲間と出来る体験プログラムの開発	C	変更
(19)	地域づくり・生涯学習における体験プログラムの普及	D	変更
<b>■5-3 活動を続けやすくするために (計画 p.22～)</b>			
(20)	ボランティア市民活動センターの機能強化	B	継続
(21)	ボランティア市民活動センター事務機器の情報整理及び発信の強化	B	継続
(22)	ボランティア団体などの設立相談・支援強化	A	変更
(23)	スキルアップのための情報及び専門的な研修機会の充実	C	変更
(24)	ボランティア活動用の備品などの利用提供	A	継続
(25)	ボランティア活動支援基金の創設の検討	D	変更
(26)	ボランティア活動費助成制度の充実	B	変更
<b>■5-4 活動を豊かにしていくために (計画 p.22～)</b>			
(27)	ボランティア団体の運営についての相談・支援の強化	A	変更
(28)	NPO 法人の設立・運営についての相談・支援の強化	C	継続
(29)	団体の運営や活動のレベルアップのための学習機会の充実	B	変更
(30)	ボランティア団体の情報発信や広報活動の支援強化	B	継続
(31)	各種助成金情報などの提供	A	継続
(32)	NPO 法人への利子補給制度及び融資制度の検討	D	削除
(33)	アダプトプログラム制度の充実	D	継続
(34)	ボランティア団体相互の連携の強化	B	継続
(35)	企業やさまざまなコミュニティ、関係機関との連携の強化	B	継続
(36)	ボランティア団体相互の情報交換や交流機会の提供	A	継続
(37)	ボランティアイベントの開催	D	継続
<b>■6 ボランティア市民活動センター機能強化 (計画 p.25～)</b>			
(38)	SNS を利用したボランティア情報の配信	D	継続

### 3. 項目別評価詳細

#### ■計画5-1 ボランティア活動への招待

番号	項目名	
(1)	ボランティア情報の収集強化	
現状（実施したことなど）		評価
<p>ボランティアの活動者及び依頼者の双方の情報をより詳細に把握するため、できる限りセンター職員がマッチングを行った活動現場を訪問している。これにより、活動者及び依頼者との信頼関係が深まり、新たなボランティア活動や依頼につながっている。また、高校生ボランティアに対する依頼が増加する中で、市からの依頼についてはセンターが窓口となって高校との調整を図り、高校側から活動希望がある際にも、センターが活動場所のコーディネートを行い、今年度で38件（583名）のマッチングを行うなど、高校生ボランティア窓口として一元化ができています。</p>		<b>B</b>
課題（できていないこと、やるべきことなど）		次期計画 項目
<p>高校生ボランティアについては、センターを通じてマッチングが行われるようになり、情報の収集体制が概ね構築されている。しかしながら、個人や団体、また企業ボランティア等については、より一層の強化が必要であり、現在、センター職員が活動場所を訪問するなどの積極的な情報収集に努めているが、今後とも継続する必要がある。また、センターの認知度アップがボランティア情報の収集強化につながることから、情報誌の発行や啓発チラシの配布等、センター自身に関する発信についても併せて強化していく必要がある。</p>		<b>拡大して 継続</b>

番号	項目名	
(2)	情報誌の発行及び配布の強化	
現状（実施したことなど）		評価
<p>チラシ「ボランティアさんからこんにちは♪」を月に1回発行し、センターの紹介をはじめ、センターがマッチングした活動写真の掲載や活動者の紹介などを行っている。また、第三次計画策定に向けたアンケートを実施する際、センターを紹介するチラシを同封し、センターの周知を図った（計3,334件送付）。</p>		<b>B</b>
課題（できていないこと、やるべきことなど）		次期計画 項目
<p>現在のチラシは、活動写真及び活動した団体名の紹介が主な内容となっている。そのため、今後は写真に加えて文章でも活動の様子を伝えたり、センターが実施する講座の紹介をしたりするなど、掲載する内容をより充実させながら、チラシから機関誌に発展させていく必要がある。また、配布については、市報への折り込みを検討するなど強化が必要である。</p>		<b>継続</b>

番号	項目名	
(3)	インターネットやケーブルテレビなどを活用したボランティア情報の提供	
現状（実施したことなど）		評価
<p>平成 28 年 6 月、センターのホームページの利便性を向上させるために、見やすく情報の検索がしやすいホームページにリニューアルした。ボランティア募集のお知らせや助成金情報、またセンターの講座を受けた感想などを掲載して、ボランティア活動に興味を湧くような情報発信に努めている。</p>		<b>C</b>
課題（できていないこと、やるべきことなど）		次期計画 項目
<p>活動者及び依頼者が必要とする情報はもちろんのこと、一市民にとってボランティア活動のきっかけとなるような情報の充実が必要である。また、情報は鮮度が重要であることから更新の頻度等にも注意しながら充実させていく必要がある。</p> <p>ケーブルテレビは情報発信ツールとして大いに効果的であることから、ケーブルテレビを活用した情報提供の早急な実現が必要である。</p>		<b>項目（1） と併合</b>

番号	項目名	
(4)	啓発用パンフレットやハンドブックなどの作成	
現状（実施したことなど）		評価
<p>センターの紹介パンフレット「みんなボランティア」や「みんなのボランティア・市民活動ブック」を作成（平成 27 年度 700 部発行）し、広報啓発活動に努めた。また、平成 29 年度からセンターを市が直接運営することに伴い、新たにチラシとポスターを作成し、各公共施設をはじめ幼稚園から高校まで配布するなどセンターの PR に努めた。</p>		<b>B</b>
課題（できていないこと、やるべきことなど）		次期計画 項目
<p>登録者のメリット等をより鮮明化するために、利用できる機材を写真等で紹介するほか、センターの利用方法や利用者の声など具体的な情報を掲載したリーフレット作成の検討が必要である。また、平成 30 年秋にはセンターが市民交流棟に移設されることから、新たなリーフレットの作成が必要である。一方で、団体情報を掲載したハンドブックについては情報の更新が定期的に必要であることから、ホームページを活用して情報発信したり、機関誌を発行する中で紹介したりするなど、情報の更新に柔軟に対応できるように努めるほか、多様なチャンネルで利用者が情報を活用できるように努める必要がある。</p>		<b>一部変更して 継続</b>

番号	項目名		
(5)	各種イベントなどでのPR活動		
現状（実施したことなど）			評価
公民館まつりなどのイベントにおいて、センターの認知度向上を目指しチラシの配布などに努めている。			C
課題（できていないこと、やるべきことなど）			次期計画 項目
センターの認知度を高めるために、日頃からの情報発信はもちろんのこと、多くの人が集まるイベント等において、センターをPRすることは重要な活動であり、今後ともセンターの情報発信を強化する一環として継続していく必要がある。			項目（1） と併合

番号	項目名		
(6)	ボランティア活性化ツールの検討		
現状（実施したことなど）			評価
ボランティア活性化ツールとしてポイント制度の導入を検討中であるが、具体化には至っていない。			D
課題（できていないこと、やるべきことなど）			次期計画 項目
次期計画においてポイント制度が導入できるように検討を進める必要がある。制度の導入にあたっては、個人や団体の活動だけでなく、企業の活動についても考慮し、企業ボランティアが活発化するような制度の構築が必要である。 また、「ボランティア顕彰制度の検討（ポイント制度含む）」と併せて検討する必要がある。			項目（11） と併合

番号	項目名	
(7)	保育・教育におけるボランティア教育の強化	
現状（実施したことなど）		評価
<p>小学校などの低年齢層に向けたボランティア教育のため、三島高等学校に協力を依頼し、ボランティアを題材とした紙芝居の作成について協議中である。</p>		<b>C</b>
課題（できていないこと、やるべきことなど）		次期計画 項目
<p>紙芝居などを利用した低年齢層向けのボランティア教室の開催など具体的な方策を検討する必要がある。また、三島高等学校を始めとして、市内の各中学校及び高等学校においてボランティア活動に関する講座などを実施し、ボランティア教育を強化していく必要がある。</p>		<b>項目（8） と併合</b>

番号	項目名											
(8)	保育・教育における体験プログラムの強化											
現状（実施したことなど）		評価										
<p>愛媛大学からのインターンシップの受け入れや川之江北中学校に講師を派遣しての手話体験学習のほか、高校生ボランティアに対する積極的なマッチングなどを行った。また、平成 27 年度及び平成 28 年度は県のボランティアチャレンジプログラムを実施するとともに、平成 29 年度は市独自のボランティアチャレンジプログラムを提供し、中学生や高校生がボランティア活動を気軽に体験できるよう努めた。</p>		<b>B</b>										
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成 26 年度</th> <th>平成 27 年度</th> <th>平成 28 年度</th> <th>平成 29 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ボランティアチャレンジ参加者数</td> <td style="text-align: center;">2,023 名</td> <td style="text-align: center;">1,601 名</td> <td style="text-align: center;">572 名</td> <td style="text-align: center;">222 名</td> </tr> </tbody> </table>		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	ボランティアチャレンジ参加者数	2,023 名	1,601 名	572 名	222 名	
	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度								
ボランティアチャレンジ参加者数	2,023 名	1,601 名	572 名	222 名								
課題（できていないこと、やるべきことなど）		次期計画 項目										
<p>低年齢層に向けたボランティア教育を実施する中で、実際の活動を体験できるような内容にするなど検討していく必要がある。</p>		<b>項目（7） と併合</b>										

番号	項目名		
(9)	四国中央市ボランティア推進週間制定の検討		
現状（実施したことなど）		現状	評価
検討に至っていない。			D
課題（できていないこと、やるべきことなど）		次期計画	項目
推進週間の制定はしないが、国が実施する「防災とボランティア週間（1月15日～1月21日）」に合わせ、ボランティアイベントや啓発活動を実施するなどして、ボランティア活動を推進していく必要がある。			削除

番号	項目名		
(10)	企業のボランティア活動推進支援の強化		
現状（実施したことなど）		現状	評価
大王製紙株式会社によるエコキャップ活動やコロンボによる地域清掃、また愛媛トヨペット三島川之江店による空き缶収集などの企業のボランティア活動に対して、協力団体をマッチングするなどして活動の支援を行った。			C
課題（できていないこと、やるべきことなど）		次期計画	項目
企業ボランティアアンケートの調査結果を踏まえ、企業のニーズと活動を把握し、支援体制をより強化していく必要がある。 また、企業のボランティア活動推進の一環として、協力できる項目として4割を超える回答があった「不要品の提供」についてマッチング機能を整備したり、ボランティア活動支援基金の協力を依頼したりするなどこれまでにない企業ボランティアの活動支援が必要である。			重点項目

番号	項目名		
(11)	ボランティア顕彰制度の検討（ポイント制度含む）		
現状（実施したことなど）		現状	評価
高校生がボランティア活動を行った際、活動内容等を証する「ボランティア証明書」を発行している。			D
課題（できていないこと、やるべきことなど）		次期計画	項目
企業ボランティアアンケートの回答においても6割を超える企業が「表彰制度などの整備は企業のボランティア活動につながると思う」と回答するなど、活動回数に応じて表彰するなどの顕彰制度の検討が必要であり、「ボランティア活性化ツールの検討」と併せて検討する必要がある。			重点項目

■計画5-2 活動をスタートするために

番号	項目名	
(12)	ボランティアコーディネーターのスキルアップ	
現状（実施したことなど）		評価
<p>社会福祉協議会等が実施するボランティア市民活動に関する研修会などに参加したり、今治市民活動センターで先進地研修を実施したりするなどして、組織運営や団体に対する対応などを学び、ボランティアコーディネーターのレベルアップを図った。</p>		<b>C</b>
課題（できていないこと、やるべきことなど）		次期計画 項目
<p>ボランティアコーディネーター用の研修を積めていないことから、今後はコーディネーターに特化した研修会に参加するなどボランティアコーディネーターとしてのスキルアップの機会が必要である。</p>		<b>継続</b>

番号	項目名				
(13)	ボランティア登録制度の更なる活用				
現状（実施したことなど）		評価			
<p>登録者に対して場ランティア活動をマッチングしている。また、休眠していると思われる団体にも連絡をとり、活動状況の聞き取りなどに努めている。</p>		<b>A</b>			
累積登録数	平成 26 年度		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度 (11 月時点)
個人登録者数	93 名		97 名	111 名	123 名
団体登録数	142 件		152 件	165 件	164 件
団体登録者数	5,998 名		6,143 名	6,231 名	6,083 名
課題（できていないこと、やるべきことなど）		次期計画 項目			
<p>今後も引き続きボランティアのマッチングを強化していくため、ニーズの調査やボランティア登録の拡大を図っていく必要がある。</p>		<b>項目（14） と併合</b>			



番号	項目名				評価
(14)	ボランティアマッチングの強化				
現状（実施したことなど）					評価
<p>センター職員が活動現場を訪問することで活動者の内容を詳細に把握するとともに、依頼者との信頼関係がより一層向上し、精度の高いマッチングが行えているため、マッチング数は増加傾向にあると考えている。</p>					<b>A</b>
	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度 (11 月時点)	
マッチング件数	223 件	243 件	376 件	398 件	
マッチング累積件数	1,296 件	1,539 件	1,915 件	2,313 件	
課題（できていないこと、やるべきことなど）					次期計画 項目
<p>活動者及び依頼者との信頼関係の構築が、マッチングの強化、ひいてはセンターの利用拡大につながるため、今後も積極的に活動現場を訪問し、活動者と依頼者の双方と良好な関係を構築する必要がある。</p>					<b>継続</b>

番号	項目名				評価
(15)	ボランティア活動に関する各種相談の強化				
現状（実施したことなど）					評価
<p>各種助成制度に関する情報収集や社会福祉協議会をはじめとする各種団体との連携、また活動者及び依頼者との信頼関係の構築を図り、ボランティア活動に関する相談等を行っている。</p>					<b>A</b>
	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度 (11 月時点)	
センター 来所者数	563 名	583 名	1,201 名	1,039 名	
課題（できていないこと、やるべきことなど）					次期計画 項目
<p>ボランティアコーディネーターとしてのスキルアップを図るなど、更なる対応の強化に努めていく必要がある。</p>					<b>継続</b>

番号	項目名										
(16)	初心者向け各種講座などの充実										
現状（実施したことなど）											
<p>ボランティアのきっかけづくりや団体の運営支援等の一環として、ボランティア市民活動研修会などを実施し、多くの参加が得られている。平成 28 年度には、「ボラセン発！講演会」と題したセミナーを開催するなど、ボランティア活動に興味を湧くような講演会等を開催した。</p>											
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2" data-bbox="97 528 1495 580">実施した内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="97 580 169 775">平成 26 年度</td> <td data-bbox="169 580 1495 775">           ■ ボランティア市民活動研修会（全 7 回）            講師：NPO 法人えひめりソースセンター理事長 泉谷昇氏 参加者：延べ 133 名            ■ 手話・点字・朗読教室            講師：登録団体に依頼 参加者：36 名         </td> </tr> <tr> <td data-bbox="97 775 169 969">平成 27 年度</td> <td data-bbox="169 775 1495 969">           ■ ボランティア市民活動研修会（全 5 回）            講師：愛媛大学教授 前田真氏 参加者：延べ 97 名            ■ 手話・点字・朗読・傾聴ボランティア・要約筆記教室            講師：登録団体に依頼 参加者：57 名         </td> </tr> <tr> <td data-bbox="97 969 169 1256">平成 28 年度</td> <td data-bbox="169 969 1495 1256">           ■ ボランティア市民活動研修会（全 5 回）            講師：四国中央医療福祉総合学院教員 藤田英樹氏ほか 5 名 参加者：延べ 66 名            ■ 手話・点字・朗読・傾聴ボランティア・要約筆記教室            講師：登録団体に依頼 参加者：58 名            ■ ボラセン発！講演会「ボランティアによるまちづくり」            講師：四国大学短期大学部教授 日開野博氏 参加者：56 名         </td> </tr> <tr> <td data-bbox="97 1256 169 1451">平成 29 年度</td> <td data-bbox="169 1256 1495 1451">           ■ ボランティア市民活動研修会（全 5 回）            講師：愛媛大学教授 前田真氏ほか 5 名 参加者：延べ 120 名            ■ 傾聴ボランティア教室（全 6 回）            講師：産業カウンセラー 加地初美氏 参加者：16 名         </td> </tr> </tbody> </table>		実施した内容		平成 26 年度	■ ボランティア市民活動研修会（全 7 回） 講師：NPO 法人えひめりソースセンター理事長 泉谷昇氏 参加者：延べ 133 名 ■ 手話・点字・朗読教室 講師：登録団体に依頼 参加者：36 名	平成 27 年度	■ ボランティア市民活動研修会（全 5 回） 講師：愛媛大学教授 前田真氏 参加者：延べ 97 名 ■ 手話・点字・朗読・傾聴ボランティア・要約筆記教室 講師：登録団体に依頼 参加者：57 名	平成 28 年度	■ ボランティア市民活動研修会（全 5 回） 講師：四国中央医療福祉総合学院教員 藤田英樹氏ほか 5 名 参加者：延べ 66 名 ■ 手話・点字・朗読・傾聴ボランティア・要約筆記教室 講師：登録団体に依頼 参加者：58 名 ■ ボラセン発！講演会「ボランティアによるまちづくり」 講師：四国大学短期大学部教授 日開野博氏 参加者：56 名	平成 29 年度	■ ボランティア市民活動研修会（全 5 回） 講師：愛媛大学教授 前田真氏ほか 5 名 参加者：延べ 120 名 ■ 傾聴ボランティア教室（全 6 回） 講師：産業カウンセラー 加地初美氏 参加者：16 名
実施した内容											
平成 26 年度	■ ボランティア市民活動研修会（全 7 回） 講師：NPO 法人えひめりソースセンター理事長 泉谷昇氏 参加者：延べ 133 名 ■ 手話・点字・朗読教室 講師：登録団体に依頼 参加者：36 名										
平成 27 年度	■ ボランティア市民活動研修会（全 5 回） 講師：愛媛大学教授 前田真氏 参加者：延べ 97 名 ■ 手話・点字・朗読・傾聴ボランティア・要約筆記教室 講師：登録団体に依頼 参加者：57 名										
平成 28 年度	■ ボランティア市民活動研修会（全 5 回） 講師：四国中央医療福祉総合学院教員 藤田英樹氏ほか 5 名 参加者：延べ 66 名 ■ 手話・点字・朗読・傾聴ボランティア・要約筆記教室 講師：登録団体に依頼 参加者：58 名 ■ ボラセン発！講演会「ボランティアによるまちづくり」 講師：四国大学短期大学部教授 日開野博氏 参加者：56 名										
平成 29 年度	■ ボランティア市民活動研修会（全 5 回） 講師：愛媛大学教授 前田真氏ほか 5 名 参加者：延べ 120 名 ■ 傾聴ボランティア教室（全 6 回） 講師：産業カウンセラー 加地初美氏 参加者：16 名										
<b>B</b>											
課題（できていないこと、やるべきことなど）											
<p>市民活動研修会の参加者等について固定化しないように幅広い周知に努める必要があるとともに、開催日時等については参加が多く見込まれる日程を検討する必要がある。また研修内容については、同じ内容とするのではなく、テーマ等を明確化させて、様々な角度からボランティアのきっかけとなるような内容を検討する必要がある。</p>											
<b>継続</b>											

番号	項目名		
(17)	趣味や特技を活かした体験プログラムの開発		
現状（実施したことなど）		評価	
体験プログラムの開発には至っていない。			<b>C</b>
課題（できていないこと、やるべきことなど）		次期計画	項目
水引き細工教室や絵手紙教室などの受講者を、それを活かした団体活動に促すなど、趣味や特技を活かしたボランティア活動の推進については、今後も継続していく必要がある。			項目（18） 及び（19） と併合

番号	項目名		
(18)	家族や仲間とできる体験プログラムの開発		
現状（実施したことなど）		評価	
体験プログラムの開発には至っていない。			<b>C</b>
課題（できていないこと、やるべきことなど）		次期計画	項目
親子での参加や中高生のボランティアチャレンジへの参加の推進など、家族や仲間と体験できるボランティア活動の推進については、今後も継続していく必要がある。			項目（17） 及び（19） と併合

番号	項目名		
(19)	地域づくり・生涯学習における体験プログラムの普及		
現状（実施したことなど）		評価	
体験プログラムの普及には至っていない。			<b>D</b>
課題（できていないこと、やるべきことなど）		次期計画	項目
公民館事業の一環としてボランティア活動を実施したり、地域の防災訓練と災害ボランティア体験をマッチングしたりするなど、地域づくり及び生涯学習におけるボランティア活動体験を推進していく必要がある。			項目（17） 及び（18） と併合

■計画5-3 活動を続けやすくするために

番号	項目名	
(20)	ボランティア市民活動センターの機能強化	
現状（実施したことなど）		評価
<p>平成29年度から、休館日を日曜日に変更し、月曜日から土曜日までを開館日として利便性の向上を図るとともに、センターに常勤の所長を配置するなどして機能強化に努めている。</p> <p>【第2次ボランティア市民活動推進計画に記載されているセンター機能等】</p> <p>(1) 情報の収集と提供 (2) 案内・相談 (3) 広報・啓発 (4) 人材の育成・養成 (5) 交流の連携（ネットワーク）の促進 (6) 調査・研究 (7) 場所・設備の提供</p>		<b>B</b>
課題（できていないこと、やるべきことなど）		次期計画 項目
<p>今後ともセンターの機能強化を図るとともに、センター職員の研修や育成などソフト面の充実も必要である。</p>		<b>継続</b>

番号	項目名	
(21)	ボランティア市民活動センター事務機器の情報整理及び発信の強化	
現状（実施したことなど）		評価
<p>センターのホームページやチラシ等においてセンターの紹介とともに、利用できる機材等について周知を行っている。</p>		<b>B</b>
課題（できていないこと、やるべきことなど）		次期計画 項目
<p>各機材の使い方について簡単なマニュアルを整備するなどして、活動者が機材を利用しやすい環境を整える必要がある。また活動の紹介も含め、機材を利用して製作した物を紹介するなどして利用できる機材をPRするなどして、これまで以上の情報の発信に努める必要がある。</p>		<b>拡充して 継続</b>

番号	項目名		
(22)	ボランティア団体などの設立相談・支援強化		
現状（実施したことなど）			評価
<p>団体等への支援の一環として、登録者が実施する事業におけるチケット等の預かりや物品の受け渡しなどの協力を行っているほか、団体の法人化に関する相談に対しては、メリットやデメリットを説明し、法人化の必要性について団体が納得できる方向が見つかるように丁寧な相談に努めている。</p>			A
課題（できていないこと、やるべきことなど）			次期計画 項目
<p>ボランティア団体においては活動内容が多岐にわたるため、その相談内容についても幅広くなり、センター職員は対応するために広範で専門的な知識が求められていることから、センター職員はできる限り研修会等に参加するなどスキルアップを図る必要がある。加えて、ボランティア団体の支援に関するニーズを常に把握し、そのニーズに応じていく必要がある。</p>			項目（27） と併合

番号	項目名		
(23)	スキルアップのための情報及び専門的な研修機会の充実		
現状（実施したことなど）			評価
<p>県や社会福祉協議会などの各種団体が実施するセミナーや講座について、センターにチラシを設置したりホームページに掲載したりするなどして、情報提供に努めている。</p>			C
課題（できていないこと、やるべきことなど）			次期計画 項目
<p>県社会福祉協議会等ではチラシの作成に関する講座や集客に関する講座など専門的な講座が実施されており、今後はセンターにおいても、専門的な研修会等の開催を検討する必要がある。</p>			項目（29） と併合

番号	項目名					評価									
(24)	ボランティア活動用の備品などの利用提供														
現状（実施したことなど）					評価										
<p>コピー機及び印刷機、またプロジェクターなどに加え、新たにビデオカメラ及び小型プリンターを整備した。また、各機器に不慣れな利用者に対しては、センター職員が作業補助を行うなど、備品の活用に努めている。</p> <p><b>【活動用備品等】</b>            コピー機、印刷機、紙裁断機、穴あけパンチ、シュレッダー、パソコン、ロッカー、メールボックス、ビデオカメラ、小型プリンター、プロジェクター等（※コピー機等は使用料が必要です）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成 26 年度</th> <th>平成 27 年度</th> <th>平成 28 年度</th> <th>平成 29 年度 (11 月時点)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用件数</td> <td>1,099 件</td> <td>1,095 件</td> <td>731 件</td> <td>566 件</td> </tr> </tbody> </table>						平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度 (11 月時点)	利用件数	1,099 件	1,095 件	731 件	566 件	<b>A</b>
	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度 (11 月時点)											
利用件数	1,099 件	1,095 件	731 件	566 件											
課題（できていないこと、やるべきことなど）					次期計画 項目										
<p>利用している団体や個人から、利用に関する希望を調査し、機材の更新や新規設置などを検討するなどして、センター設備の充実に努めていく必要がある。</p>					<b>継続</b>										

番号	項目名					評価
(25)	ボランティア活動支援基金の創設の検討					
現状（実施したことなど）					評価	
<p>支援基金については検討できていない。</p>					<b>D</b>	
課題（できていないこと、やるべきことなど）					次期計画 項目	
<p>「企業のボランティア活動推進支援の強化」及び「ボランティア活動費助成制度」と併せて検討し、企業のボランティア支援活動の一環として、企業から資金提供を受け、ボランティア活動支援に活用できる制度を構築するなど、行政だけでなく民間活力を活かせるような活動の推進が必要である。</p>					<b>一部変更し 項目（26） と併合</b>	

番号	項目名													
(26)	ボランティア活動費助成制度の充実													
現状（実施したことなど）				評価										
<p>平成 27 年に「あったかなまちづくり活動支援事業」の制度を変更し、助成制度の充実を図った。</p> <p>【あったかなまちづくり活動支援事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなで取り組む、あったかしこちゅ～まちづくり事業コース 補助額：最大 40 万円 補助率：7/10</li> <li>・やってみよう！まちづくり事業コース 補助額：最大 10 万円 補助率：5/10</li> </ul> <table border="1" data-bbox="108 723 1240 884"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成 26 年度</th> <th>平成 27 年度</th> <th>平成 28 年度</th> <th>平成 29 年度 (11 月時点)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>助成実績</td> <td>6 件 1,144,000 円</td> <td>5 件 1,032,000 円</td> <td>6 件 1,133,000 円</td> <td>6 件 1,495,000 円</td> </tr> </tbody> </table>					平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度 (11 月時点)	助成実績	6 件 1,144,000 円	5 件 1,032,000 円	6 件 1,133,000 円	6 件 1,495,000 円	B
	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度 (11 月時点)										
助成実績	6 件 1,144,000 円	5 件 1,032,000 円	6 件 1,133,000 円	6 件 1,495,000 円										
課題（できていないこと、やるべきことなど）				次期計画 項目										
<p>「あったかなまちづくり活動支援事業」の周知不足により、活動者に対して十分な情報提供ができていない状況である。当該事業の制度概要を活動者に周知するため、ボランティア交流会等において事例発表や相談コーナー等を設置するなど、積極的な啓発活動が必要である。また、継続的なボランティア活動に対する助成制度や企業からの資金提供による助成制度などについても、「ボランティア活動支援基金の創設の検討」と併せて検討する必要がある。</p>				項目（25） と併合										

■計画5-4 活動を豊かにしていくために

番号	項目名	
(27)	ボランティア団体の運営についての相談・支援の強化	
現状（実施したことなど）		評価
<p>県や社会福祉協議会による中間支援組織（ボランティア市民活動センター等）に関する研修会などに参加し、専門的な相談等に対応できるように努めている。</p>		<b>A</b>
課題（できていないこと、やるべきことなど）		次期計画 項目
<p>団体からの相談に対して的確に回答することが効果的な支援につながることから、より一層ボランティアコーディネーターとしてのスキルアップが必要である。</p>		<b>項目（22） と併合</b>

番号	項目名	
(28)	NPO法人の設立・運営についての相談・支援の強化	
現状（実施したことなど）		評価
<p>NPO設立に関するメリット・デメリットを説明したり、運営に関する相談等を受けたりするなど、対応に努めている（設立相談は平成28年1件、平成29年3件程度）。</p> <p>【NPO法人設立状況】</p> <p>・平成26年度0件 ・平成27年度1件 ・平成28年度1件 ・平成29年度一件</p>		<b>C</b>
課題（できていないこと、やるべきことなど）		次期計画 項目
<p>NPO法人に関する支援等については、専門的な知識が要求されるため、研修会等に積極的に参加して職員のスキルアップを図るほか、日頃からの研鑽が必要である。また、幅広い相談に対応するために、他の中間支援組織等との連携を図る必要がある。</p>		<b>強化して 継続</b>

番号	項目名	
(29)	団体の運営や活動のレベルアップのための学習機会の充実	
現状（実施したことなど）		評価
<p>ボランティア市民活動研修会やボランティア講演会、またボランティア交流会などを開催し、団体活動のレベルアップが図られるように努めている。</p>		<b>B</b>
課題（できていないこと、やるべきことなど）		次期計画 項目
<p>ボランティア活動に関する研修機会だけでなく、チラシ作成講座やマネジメント講座など、より専門的な講座を開催し、研修機会の充実を図る必要がある。</p>		<b>項目（23） と併合</b>



番号	項目名		
(30)	ボランティア団体の情報発信や広報活動の支援強化		
現状（実施したことなど）		現状	評価
センターのホームページを活用し、団体や活動の紹介、また団体が実施するイベントの紹介を掲載するなど、支援活動に努めている。			<b>B</b>
課題（できていないこと、やるべきことなど）		次期計画	項目
センターのホームページにおいて、更に団体情報を充実させるとともに、今後は団体自身による情報発信ができるように、チラシ作成講座やSNS活用法などの広報活動に関する講座等の実施を検討する必要がある。			<b>継続</b>

番号	項目名		
(31)	各種助成金情報などの提供		
現状（実施したことなど）		現状	評価
市や社会福祉協議会、また各種団体が実施している助成制度について、ホームページに掲載したり、チラシをセンターに設置したりするなどして、情報の提供に努めている。また、具体的な助成に関する相談に対しては、募集要件等が合致する制度の紹介に努めている。			<b>A</b>
課題（できていないこと、やるべきことなど）		次期計画	項目
引き続き、幅広く助成金制度の情報を提供し、活動団体の利用が図られるように努める必要がある。利用促進にあたっては、センター職員が助成金に関する情報を把握し、積極的な情報提供と手厚い支援が必要である。			<b>継続</b>

番号	項目名		
(32)	NPO法人への利子補給制度及び融資制度の検討		
現状（実施したことなど）		現状	評価
産業支援課が実施している「四国中央市中小企業融資制度」において、一定の条件を満たすNPO法人を対象とした融資制度及び信用保証料補給制度を実施している。			<b>D</b>
課題（できていないこと、やるべきことなど）		次期計画	項目
NPO法人の融資については、「四国中央市中小企業融資制度」を活用できる状況であり、利子補給制度はないものの信用保証料を補給している。現在、市内には17のNPO法人が存立しているが、こうした制度を十分に活用できるよう支援する必要がある。			<b>削除</b>

番号	項目名		
(33)	アダプトプログラム制度の充実		
現状（実施したことなど）		評価	
<p>アダプトプログラム制度は設置していない。</p> <p>※アダプトプログラムとは…</p> <p>アダプトは養子縁組のこと。市民や企業などのボランティア（里親）が、道路や河川などの一定区画（養子）を受け入れ（養子縁組）、愛情と責任を持って清掃美化していくプログラムのこと。</p>		<b>D</b>	
課題（できていないこと、やるべきことなど）		次期計画 項目	
<p>市独自のアダプトプログラム制度の検討を行うと共に、県が実施している「愛リバー・サポーター制度」「えひめ愛ロードサポーター事業」「愛ビーチ・サポーター制度」に関する情報提供を通じて、アダプトプログラム制度自体の理解を深める必要がある。</p>		<b>継続</b>	

番号	項目名		
(34)	ボランティア団体相互の連携の強化		
現状（実施したことなど）		評価	
<p>ボランティアの依頼内容によっては、1件の依頼に対し、複数の団体をマッチングするなどして、団体相互の連携が図られるようなきっかけづくりに努めている。</p> <p>また、ボランティア交流会を開催し、団体間の交流を促すなど連携の強化が図られるよう努めている。</p>		<b>B</b>	
課題（できていないこと、やるべきことなど）		次期計画 項目	
<p>ネットワーク組織の構築など、これまで以上に団体間の連携や団体とセンターとの連携が図られるような方策を検討する必要がある。</p>		<b>継続</b>	

番号	項目名	
(35)	企業やさまざまなコミュニティ、関係機関との連携の強化	
現状（実施したことなど）		評価
<p>企業ボランティアとして1社のみ登録されている。しかしながら、登録がない企業についても、企業内で実施しているボランティア活動に対し、協力できる団体をマッチングするなどの連携を図っている。また、ボランティアニーズの統括のため各課や各公民館と関係を構築したり、高校生ボランティアの窓口として各高校と連絡を取り合ったりするなどして、連携の強化を図っている。</p>		<b>B</b>
課題（できていないこと、やるべきことなど）		次期計画 項目
<p>潜在的な企業ボランティアのニーズを掘り起こし、センターに企業ボランティアとして登録してもらえようような働きかけが必要である。加えて、これまでは団体や個人ボランティアに対する支援等が主体であったことから、今後は企業ボランティアの受け入れ体制等についても検討する必要がある。</p>		<b>継続</b>

番号	項目名										
(36)	ボランティア団体相互の情報交換や交流機会の提供										
現状（実施したことなど）		評価									
<p>団体のチラシやポスターをセンターに設置するなどして情報提供し、団体同士が情報を共有できるよう努めている。また、毎年、ボランティア交流会を開催し、登録者同士の交流が図られるよう努めている。</p>		<b>A</b>									
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>実施状況</th> <th>平成 26 年度</th> <th>平成 27 年度</th> <th>平成 28 年度</th> <th>平成 29 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ボランティア交流会参加者数</td> <td style="text-align: center;">119 名</td> <td style="text-align: center;">110 名</td> <td style="text-align: center;">108 名</td> <td style="text-align: center;">1 月開催予定</td> </tr> </tbody> </table>			実施状況	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	ボランティア交流会参加者数	119 名	110 名	108 名
実施状況	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度							
ボランティア交流会参加者数	119 名	110 名	108 名	1 月開催予定							
課題（できていないこと、やるべきことなど）		次期計画 項目									
<p>交流会の参加者から「新しい出会いがあった」「活動の幅を広げられた」という声がある。今後、より一層お互いの活動に対する理解が深められ、これまで以上に充実した活動につながるような仕組みや機会を提供していく必要がある。</p>		<b>継続</b>									

番号	項目名	
(37)	ボランティアイベントの開催	
現状（実施したことなど）		評価
ボランティア交流会は開催できているが、ボランティアイベントの開催はできていない。		<b>D</b>
課題（できていないこと、やるべきことなど）		次期計画 項目
平成 30 年秋の市民交流棟への移設に合わせたイベントを計画中である。イベントの実施にあたっては、企画や運営などからセンターの利用者と協働し、イベントやセンターが利用者にとってより身近なものとなるように努める必要がある。		<b>継続</b>

■計画6 ボランティア市民活動センター機能強化

番号	項目名
(38)	SNSを利用したボランティア情報の配信
現状（実施したことなど）	評価
各種SNSを利用した情報発信は行っていない。	D
課題（できていないこと、やるべきことなど）	次期計画 項目
活動現場を訪問した際に、その場で写真と簡単な文章で活動を紹介するなど、SNSの特性を最大限に生かした活用を検討する必要がある。導入にあたっては、SNSの運用ルールを整備するなどして、センター職員が安全かつ有効に活用できる環境づくりも必要である。	継続